

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 29年11月15日 (14:00~14:45)
------------------	-----	-----------------------------

1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	最終確認メンバー 高橋舞子・南雲未来・笛木智世・高橋正和・渡辺雪子・南雲小梅
-------------------	------	-------------------------------------------

※11月10日より毎日ミーティングにて確認

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	13人	人	人	15人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 新規からの情報は生活歴など可能な限り家族へ聞き取り及びセンター方式のシートを家族にもお渡しできる範囲で記載をお願いしていく。 新規～1回目のモニタリング(2週間)、更新時にはセンター方式シートを事前に用意してミーティング時に記載していく。主体は担当とケアマネであるが職員全員でかかわる。次年度も目標に入れる。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ご家族様へ生活歴の把握のためにセンター方式シートを依頼した。送迎時にご家族様に話を聞くなどして不安や心配ごとを受け止めている。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	10	5	0	0	15人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	9	6	0	0	15人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	11	3	0	1	15人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	6	8	1	0	15人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 利用開始前にケアマネより事前面接での様子やどんな支援が必要かミーティングで話しあえている。 利用初期の方には積極的に話しかけ他のお客様との関係づくりを促せていると思う。 送迎時にご家族様に話を聞くなどして不安や心配ごとを受け止めている。 慣れていない時は利用時間も短い時間から始めたり、訪問をメインに考え、通い回数も少ないところから徐々に増やすなどしている。連絡帳を活用して相談をおこなったりもしている。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 遠方にいる家族様とは話し合う機会が少なく、必要な支援ができていないのか不安がある。 ミーティングの時間が取れない日もある。 申し送りできるノートや場所がもう少しあるといいと思う。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ご家族様へのセンター方式記入を継続。地域の支援者からも情報を集める。 情報伝達やミーティング内容がより伝わるように申し送り・業務日誌を見開きの大きいものへ変更したらどうか。 ミーティングの時間等を再検討してはどうか。(今のままでよいのか等) 	

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 29年11月15日 (14:00~14:45)
------------------	-----	-----------------------------

2.「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	最終確認メンバー 高橋舞子・南雲未来・笛木智世・高橋正和・渡辺雪子・南雲小梅
--------------------------	------	-------------------------------------------

※11月10日より毎日ミーティングにて確認

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	13人	人	人	15人

前回の改善計画	・センター方式シートをすべてのお客様分を赤ペンで追記し、平成29年4月には更新できるようにする。4月には全員分を更新し個別援助計画に活かせるように取り組む。再度職員に対してのケアプランとアセスメントの視点の説明を行い共通理解を図る。
前回の改善計画に対する取組み結果	・お客様担当中心にセンター方式の情報シートの更新をした。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	5	10	0	0	15人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	6	7	2	0	15人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	4	9	2	0	15人
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	4	11	0	0	15人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・変化に応じて話し合いを行いケアプラン等の更新を行っていると思う。 ・お客様の状態は毎日のミーティングですぐに話し合うことができていると思う。 ・本人の意向やそれを反映したケアプランになっていると思う。内容の確認は実施記録をつけるときなどに常にケアプランに目を通しみんなで確認し合うことで把握もされていると思う。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の担当のお客様(職員は定員のお客様に担当をつて中心的に情報収集してるため)についてはよく知ることができているが他のお客様については知らないことも多い。 ・情報シートをよく読んでいない。 ・個別にゆっくり関わることができていないかも。 ・記録に過ごされている時間の中で記録が不足している時がある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・情報伝達やミーティング内容がより伝わるように申し送り・業務日誌を見開きの大きいものへ変更したらどうか。 ・ミーティングの時間等を再検討してはどうか。(今のままでよいのか等) 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 29年11月15日 (14:00~14:45)
------------------	-----	-----------------------------

3. 日常生活の支援	メンバー	最終確認メンバー 高橋舞子・南雲未来・笛木智世・高橋正和・渡 ※11月10日より毎日ミーティングにて確認
------------	------	------------------------------------------------------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	13人	人	人	15人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 再度職員に対してのケアプランとアセスメントの視点の説明を行い共通理解を図る。センター方式シートの追記はお客様担当に任せきりにせず、各自知り得た情報は随時赤ペンで追記をしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> センター方式シートの追記はお客様担当や担当ケアマネージャーだけでなく、職員各自が情報の収集した際に追記できるようになってきている。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	4	10	1	0	15人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	9	6	0	0	15人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	7	4	4	0	15人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	7	8	0	0	15人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	4	11	0	0	15人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 特に入浴介助のマンツーマンのときはどのように生活しているのかなど話をよく聴くようにしている。 本人の意向を聴きだす声かけができていると思う。 食事形態や歩行状態などは特に変化はすぐにミーティングで話し合い申し送りすることで本人に合わせた介護を提供できていると思う。 自体調変化時には受診を進めたり受診介助で即座に対応している。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 午後のミーティングに出席できない場合は詳しい状況がわかりづらいことがある。 非言語での変化についてあまり記録がないと思う。お客様一人ひとりに対する時間が忙しさから難しい。 各担当がセンター方式に追記を行っていないため、新たな情報が共有できないている。センター方式の書き方を知らない職員がいる。 ご自身で訴えのある方が優先になり、全利用者の本当の声まで考察できていない等に思う。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> センター方式更新や追記のしくみづくりが必要。 記録の書き方の勉強(「本人の言葉」の記入。行動に対してとったケアの結果の記入。) 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 29年11月15日 (14:00~14:45)
------------------	-----	-----------------------------

4. 地域での暮らしの支援	メンバー	最終確認メンバー 高橋舞子・南雲未来・苗木智世・高橋正和・渡辺雪子・南雲小梅
---------------	------	-------------------------------------------

※11月10日より毎日ミーティングにて確認

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	13人	人	人	15人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 新規からの情報は生活歴など可能な限り家族へ聞き取り及びセンター方式のシートを家族にもお渡しできる範囲で記載をお願いしていく。 新規~1回目のモニタリング、更新時にはセンター方式シートを事前に用意してミーティング時に記載していく。主体は担当とケアマネであるが職員全員でかかわる。次年度も目標に入れる。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 認定更新時や長期目標更新前のモニタリングでは、センター方式シートに新たな情報等を追記するようになってきている。 新規利用時にはご家族様に主旨を説明し、センター方式記入の依頼を行っている。聞き取りだけでは得ることのできない情報収集に繋がられている。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	5	9	1	0	15人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	4	11	0	0	15人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	4	8	3	0	15人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	5	7	2	1	15人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 苗場カフェゆきわりそうも7年となり地域交流できていると思う。 お客様の生活スタイルの合わせた利用形態や座席の配慮などを行っている。 地域との関わりが切れぬよう、外出企画やボランティアが来所する際には参加していただいている。 本人や家族から聞き取りをしてアセスメントやミーティングで話している。 日々のことは連絡帳を活用し運営推進会議などで地域の情報収集を行い共有できていると思う。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 関わった日数が浅いためそれほど理解できていない(新人) お客様がご自宅でのように過ごしているのか知らないことは多い。本人から聞く機会はあるがそのことが記録にないことがある。夜の過ごし方や利用日以外の過ごし方ははすべて把握できてはいない。特に独居は難しい。 地域資源を知らない職員も多い。特に民生委員がどんな役割を持っているのかなど。 日々の外出支援など余裕がなく外出企画等なかなか実施できない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 本人、家族から情報を得たことは支援記録やケース記録、センター方式シートに残すようにミーティングで周知する 地域資源がどこにあるかマップとフロアに掲示する 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 29年11月15日 (14:00~14:45)
------------------	-----	-----------------------------

5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	最終確認メンバー 高橋舞子・南雲未来・苗木智世・高橋正和・渡辺雪子・南雲小梅
----------------	------	-------------------------------------------

※11月10日より毎日ミーティングにて確認

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	14人	人	人	15人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 開拓可能な社会資源は活用していく。現在つながっている社会資源に関してはモニタリングの際にプランに記載していないものも記載する。特に週間予定表などにつながりを記載することで理解が深まると期待する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 神立地区に古民家をお借りしてカフェ活動を行った。少数ではあるが人の集う場所を開拓できた。外部の配食やアクション農園倶楽部のほかにも町の事業などは継続できるようプランに反映させている。日々の変化に関しては9月から業務日誌と申し送りの書式を変更し記録するようにした。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとして、地域の資源を使って支援していますか?	6	9	0	0	15人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	10	5	0	0	15人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	7	7	1	0	15人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	8	7	0	0	15人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> その日の体調や本人の状況に合わせて通いや訪問・宿泊への変更等をしている。台風などの悪天候の場合にも声掛けをして訪問から宿泊へ。自宅転倒のあった際には念のため訪問から宿泊へ変更をおこなった。 アクション農園の利用やいきいきサロンなどにも参加していただいている。 日々の関わりは本人の様子をイーティングで共有している。情報を共有することで訪問支援の追加など日々柔軟に対応している。 収集した情報は随時プランに取り入れられている。 急な利用変更にも対応できている。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 地域資源を利用している人が少なく一部である。小規模だけの支援のお客様の方が多い。 自分自身個人記録の確認不足を感じる。ミーティングに参加していない時、詳しい状況が把握できない場合がある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 個人記録は出勤時に必ず読む。 当日ミーティングに参加できない職員は申し送りを確認するとともに日直に内容を確認する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 29年11月15日 (14:00~14:45)
------------------	-----	-----------------------------

6. 連携・協働	メンバー	最終確認メンバー 高橋舞子・南雲未来・苗木智世・高橋正和・渡辺雪子・南雲小梅
----------	------	-------------------------------------------

※11月10日より毎日ミーティングにて確認

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	13人	人	人	15人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議はケアマネ・管理者の参加であるが、そのほかの職員に年間計画で割り振りをしてSOS訓練、サポーター養成講座、健安P勉強会など参加してもらう。 ・サービス担当者会議は参加したことのない職員を中心に組み込む。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議はケアマネ・管理者の参加であるがサポーター養成講座には今年度リーダーが参加した。職員不足より職員は現場に残り役職者が外の連携に努めることの多い1年であった。担当者会議も介護職員の参加の機会の調整が困難で事前に意見を聞いてないように反映することが多い。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	10	5	0	0	15人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	12	3	0	0	15人
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	11	3	1	0	15人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	10	4	1	0	15人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・サービス機関との連携ができている。ケア会議等は上長は参加してできていると思う。 ・地域の子供たちも祭りなどでは足を運んでくれる。職員の子どもと一緒にレクなどをしに来所してくれる。利用者の友人や近所の方も頻繁ではないが足を運んでくれる。保育園の園児が踊りを披露しに来てくれた時もあった。 ・喫茶や行事・避難訓練などで連携していると思う。運営推進会も包括支援センターや町内会の参加がある。地域のボランティアにも参加していただいている。 ・地域のお花見には毎年参加できている。 ・随時更新ごとにサービス担当者会議は開催している。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地区担当保健師や福祉用具事業所などの参加は担当者会議にはある。なかなか自宅での担当者会議の際に介護職員が参加する時間を取ることができないため事前に意見を聞いてプランに反映させている。 ・③④に関してはできているところもあるが、回数もすくなくあまり関わっていないという意見もあった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・地域のイベントの情報収集をするとともに、施設のカフェ等の案内を多く配信する。子供たちが来れる企画も計画していく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 29年11月15日 (14:00~14:45)
------------------	-----	-----------------------------

7. 運営	メンバー	最終確認メンバー 高橋舞子・南雲未来・苗木智世・高橋正和・渡辺雪子・南雲小梅
-------	------	-------------------------------------------

※11月10日より毎日ミーティングにて確認

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	13人	人	人	15人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 地域ケア会議はケアマネ・管理者の参加であるが、そのほかの職員に年間計画で割り振りをしてSOS訓練、サポーター養成講座、健安P勉強会など参加してもらう。 サービス担当者会議は参加したことのない職員を中心に組み込む。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 認知症サポーター養成講座は5回開催した。振り返りの場であり学びの場となっている。 今年度のアンケート回収率は100%であり、意見も会議等で検討しフィードバックしている。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	4	10	1	0	15人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	8	6	0	1	15人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	7	7	0	1	15人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	11	4	0	0	15人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 意見箱の設置や相談窓口を設け、事業所のお便りからも配信している。顧客満足度評価のアンケートより改善すべき課題は話しあい、フィードバックしている。 認知症サポーター養成講座も自施設だけでなく包括支援センターと協力して行っている。 部署会議では活発な意見交換がされていると思う。 地域への企画の配信として回覧板なども活用させていただいている。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 新人職員はまだ多くの意見を言えているとは言えないと思う。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 小規模多機能についての勉強会を今年度中に実施し、その中で小規模多機能の理解を深め多くの意見が出せるようにしていく。 	

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 29年11月15日 (14:00~14:45)
------------------	-----	-----------------------------

8. 質を向上するための取組み	メンバー	最終確認メンバー 高橋舞子・南雲未来・苗木智世・高橋正和・渡辺雪子・南雲小梅
-----------------	------	-------------------------------------------

※11月10日より毎日ミーティングにて確認

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	13人	人	人	15人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議はケアマネ・管理者の参加であるが、そのほかの職員に年間計画で割り振りをしてSOS訓練、サポーター養成講座、健安P勉強会など参加してもらう。・サービス担当者会議は参加したことのない職員を中心に組み込む。 ・新人の入職もあるので、定期的に危険予知訓練を行いリスクの視点を磨きヒヤリハットの提出増加を目指す。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット0・1のレベルの気づきの提出は増えた。0・1を毎月80件目標にみんなで取り組んだ。骨折など重大事故が起きていない。 ・毎月の職員会議での勉強会は年間計画に沿って実施し、その他外部研修などの案内は積極的に参加していただいている。スキルアップの機会が多いほうだと思います。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	13	2	0	0	15人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	13	2	0	0	15人
③	地域連絡会に参加していますか	13	3	0	0	16人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	10	5	0	0	15人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・法人内だけではなく外部研修等にも参加させてくれる。毎月の職員会議でも学ぶ場がある。研修の案内をしてくれるので参加できる ・インシデント(ひやりはっど)をたくさん出すように頑張っている。 ・地域ケア会議・ケアマネ部会など地域の会議には事業所として参加している。 ・毎月のリスクマネジメント委員会で事故集計からの分析を行い対策や予防策を出し事故予防に努めている。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・0レベルインシデント(お客様に実害の無い早く気が付いた危険レベルの低い事象)の報告がまた少ない。日々気づくことは沢山あっても紙に記入できないすぐを書くという習慣が身につけていない。 ・同じヒヤリハットの対策が話し合われていないため、毎月同じヒヤリハットの提出が続いたりして事故に繋がるケースがある。 ・職員のミスによるヒヤリハットが多い(忘れ物など)対策の不十分さはある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・インシデント(ひやりはっど)用紙はいつでも記入できるように用紙の置き場所を再検討する。 ・月の集計を2週間ごとに行っているため、その時点で同件事象のものをまとめ、次の日のミーティングで話し合い対策等を周知する。 	

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 29年11月15日 (14:00~14:45)
------------------	-----	-----------------------------

9. 人権・プライバシー	メンバー	最終確認メンバー 高橋舞子・南雲未来・苗木智世・高橋正和・渡辺雪子・南雲小梅
--------------	------	-------------------------------------------

※11月10日より毎日ミーティングにて確認

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	13人	人	人	15人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 研修や勉強会の計画は事業方針に沿い今まで通りの実施。会議ごとに振り返りの機会を設けていく。取り組み自体は継続で行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 事業方針に沿い必要な研修・勉強会を計画実行できている。 参加が出来なかった職員に対しては、講義風景をビデオ撮影し資料と共に自己学習できるようにした。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	12	3	0	0	15人
②	虐待は行われていない	13	2	0	0	15人
③	プライバシーが守られている	10	4	1	0	15人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	13	2	0	0	15人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	11	4	0	0	15人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・独居のお客様が安心して暮らせるように成年後見制度への利用を促し補佐がつき対応ができるようになった(今年5月度より) ・身体拘束はおこなっていません。虐待や身体拘束に繋がらないように勉強会を行い「知識がないから知らずにおこなってしまった」ということはないように取り組んでいる。 ・マニュアルに沿った個人情報の管理を気を付けている。個人情報の取り扱いの勉強会もしている。 ・施設内は自由に移動していただき外への散歩など見守りは部署は関係なく協力できている。GHとの行き来も日常的にある。不安な時は付き添い気分転換を促したり施設に閉じ込めるようなケアはしないことを共通認識でケアにあたっている。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・トイレの声かけや排泄に関することを本人の近くでないところから声かけをしているところがある。 ・植物や仕切りが活かせていないと思う。 ・ミーティング時にお客様の前で個人名を出し話し合いをしている。工夫できる余地はありそう。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・トイレの声掛けに関しては本人の耳元でそっと声掛けを行う ・仕切り等、物品購入の予定となっているため年度中に購入しフロアのレイアウトを行う ・ミーティング時は職員のみで行う。午睡しないお客様は別テーブルで見守りの職員を1名配置する。 	